

保育理念		保育方針		保育目標	
<p>・児童福祉法に基づき、保育を必要とする全てのこどもにとって、最もふさわしい生活の場を保障し、一人ひとりの権利や主体性を尊重し、心身共に健やかな成長と、生きる力、喜びを育むため最善の保育を目指します。</p> <p>・地域に親しまれる保育園、保護者が安心して子育て・子育てできる保育園を目指します。</p>		<p>・こども一人一人ひとりをありのまま受け止め、十分な信頼関係のもと、心の安定を図る。</p> <p>・細やかな愛情と温かい眼差しで、知性・情緒・行動・衛生のあらゆる面から、こどもたちの発達を支援する。</p>		<p>『元気に遊ぶ子』</p> <p>・心身共に健康な</p> <p>・自分の思いを素直に表し、自信を持って行動できる</p> <p>・いろいろなものに興味や関心を持ち、友達と関わって遊べる子</p>	
社会的責任		人権尊重		説明責任	
乳児保育を含む3歳未満児の受け入れ推進。		こどもを一人の人として尊重し、自己肯定感をもてるように努める。		地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に、当該保育所が行う保育の内容を適切に説明する。	
情報保護		情報保護		苦情処理・解決	
正当な理由なく利用者又はその家族の情報を漏らすことのないよう、職員に対し、定期的に研修を行う。情報の管理を徹底し、小学校・その他機関に対してこどもの情報提供を行う際には、あらかじめ文書によってこどもの保護者の同意を得る。		苦情対応窓口、担当者、苦情解決責任者、第三者委員の設置を行うと共に、苦情解決体制を全職員・利用者に周知する。			
年齢別保育目標	0歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりのリズムで生活し、安心して過ごす。</li> <li>保育者との信頼関係を深める。</li> <li>衛生的で安全な環境の中で身体活動や探索活動を十分に行い運動機能や探索意欲を高める。</li> </ul>		3歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の流れにおおよその見通しを持ち、身の回りのことを自分でしようとする気持ちを育てる。</li> <li>遊びや体験を通して、いろいろなことに興味・関心を持ったり、自分を表現する。</li> <li>保育者や友だちと関わり、遊びを通して相手の気持ちにも気づいていく。</li> </ul>
	1歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな遊びや探索活動を一人でじっくりと楽しむ。</li> <li>保育者との信頼関係を築き、安心して過ごす。</li> <li>保育者に気持ちや思いを身振りや簡単な言葉で表現しようとする。</li> </ul>		4歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な活動に自分を発揮しながら取り組む中で、やり遂げた喜びを味わい自信を持つ。</li> <li>自分がやりたいことを見つけ、夢中になって遊び込む。</li> <li>遊びや生活の中で、友だちと考えを出し合い、工夫しながら挑戦したり、遊びを広げていったりする。</li> <li>遊びの経験を広げて色々な方法で表現することを楽しむ。</li> </ul>
	2歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者との関わりの中で、自分でできることが増え、身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>興味のあることの模倣をしたり、保育者や友だちと一緒に言葉のやり取りを楽しみ、イメージを共有して遊ぶ。</li> <li>伸び伸びと個性を発揮し、自身の気持ちを言葉や動作で表現しようとする。</li> <li>保育者や友だちと一緒に全身を使う運動や、指先を使う遊びを楽しむ。</li> </ul>		5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びのなかで、自然や身近な事象に興味や関心を持ち、豊かな心情や知的好奇心、探究心を高める。</li> <li>豊かな経験を積み重ねながら、互いの健康や安全への意識を持ち、自ら主体的に行動する力など、生きる力の基礎を育む。</li> <li>友だちや異年齢との関わりの中で思いやりの心を育ち、協力し合う大切さを知る。</li> <li>自分なりの目標や友だちと共通の目標を持つ中でやり遂げた達成感や満足感を味わう。</li> </ul>

保育の内容							
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
養護	生命の保持	個々の生活リズムを大切にし、生理的欲求を十分に満たす。	生理的欲求を満たし、生活リズムの安定を援助する。	健康的な生活リズムの定着を援助する。	健康的な生活習慣を知り、自ら行おうとするのを援助する。	健康で安全な生活習慣を自ら行い、できる喜びを感じられるよう援助する。	健康で安全な生活習慣を身につけ、主体的に行動できるようにする。
	情緒の安定	特定の保育者の応答的な関わり・触れ合いの中で、愛着関係を築く。	甘えや欲求に共感して関わることで、安心して自分の気持ちを表現できるようにする。	自己主張を受け止め、個々の気持ちに共感することで自我の育ちを援助する。	自我を受け止めることで、安心して人や環境への探索欲求を高めていけるようにする。	様々な体験から自己肯定感を育むと共に、他者の気持ちにも気づき始める。	自己肯定感を確立し安定的・主体的に行動すると共に、他者も尊重していく。
教育	健康	姿勢を変えたり、移動したり、歩き出すなど自由に動くことを喜ぶ。	歩行が完成し、動くことを楽しむ。身の回りのことを保育者と一緒に行う。	歩く、走る、跳ぶなど、基本的な動作ができるようになり、全身運動を楽しむ。生活の見通しを持ち、身の回りのことを自分からやろうとする。	走る、もぐる、飛び降りなどの運動を楽しむ。自分のことは自分でしようとする気持ちを持つ。	力強く走る、ボールを蹴るなど、全身を使う運動に挑戦する。健康で安全な生活に必要な習慣を身につける。	活発に体を動かし、様々な運動に目標を持って挑戦する。基本的習慣や態度を身につけ、自ら進んで行動する。
	人間関係	特定の保育者との愛着関係を築く。友だちなど周囲の人にも関心を示す。	甘えや欲求を認める大人との触れ合いを楽しむ。友だちや保育者に興味を持ち、真似をして遊ぶ。	自己主張を受容されながら、順番などのルールを知る。保育者や友だちと関わる楽しさを知る。	保育者の仲立ちの元、友だちと思いを伝えあって遊ぶ。簡単なルールを守って遊ぼうとする。	自分の思いを伝え、相手の思いも聞き、会話を楽しむ。思い通りにいかない経験から、相手の思いに気づいていく。	友だちの思いも尊重し、協力しながら遊ぶ。地域の人など時間の生活に関わりの深い人に親しむを持つ。
	環境	身近なものに興味を示し、見たり触れたりする。	好きなおもちゃを見つけ、遊びこむ。身近な自然を見つけ、探索遊びを楽しむ。	身近な自然や事象に関心を持ち、探索、模倣をして遊ぶ。物の特性(水・砂・泥など)に興味を示し、触れたり製作して楽しむ。	草木や小さな生き物に出会い、その特徴に興味を持つ。身の回りの物の色、量・形に関心を持ち、集めたり分けたりする。	様々な自然に積極的に関わり、遊びの中に取り入れようとする。体験を通じて物の色、量・形に関心を持ち、数えたり、比べたりする。	社会や自然の不思議に気づき、試したり、発見したり、探究的に関わる。生活の中で物の性質や数量、図形、文字、時間などに関心を持つ。
	言語	保育者の語りかけに、表情や喃語・片言で応えようとする。指さしや身振りで保育者に伝えようとする。	保育者の応答的な関わりに喜び、自分の思いを片言や身振りで伝えようとする。絵本や歌を楽しみ、様々な言葉に触れる。	自分の思いや経験を話そうとしたり、遊びの中で簡単な言葉でやりとりをする。絵本から言葉の楽しさを味わったり、真似をして楽しむ。	経験したことや思いを、自分の言葉で保育者や友だちに伝えようとする。絵本から、言葉のリズムや美しさを味わう。	絵本や物語からイメージを広げて遊んだり、なぞなぞなどの言葉遊びを楽しむ。日常生活に必要な言葉が分かり、使おうとする。	共通の目的に向かって友だちと話し合う中で、相手の話すことを聞くという態度を身につける。遊びや生活の中で文字や記号に親しむ。
	表現	生活の中で出会うものを心で受け止め、感じたことを全身で表す。音のリズム、心地良い歌を聞く自分から動く。	生活の中で様々なものや素材に触れ、指先や体を使って表現する。リズムや歌に合わせて模倣し、自分で感じたように表現する。	様々な事象や出来事を通してイメージを広げたり、深めたりする。感じたままに表現する喜びを味わう。	イメージを広げたり、見立てたりして遊ぶ。感じたり考えたりしたことを、身振りや動作で表現する。	友だちとイメージを共有しながら、様々な表現を楽しむ。感じたこと、考え、経験を、色々な方法で表現する。	友だちと一緒に表現する過程を楽しみながら、豊かな感性を育む。自分のイメージに合わせて素材などを選択し、工夫して表現する。
食育	食を営む力の基礎	安心できる環境の中で授乳や食事を進め、一人ひとりの発達に合わせた離乳食を進め、食べる意欲を育てる。	食事のリズムを整える。自我の芽生えを大事にし、食べる意欲を育てる。	みんなと一緒に食べることを楽しむ。色々な素材の味を知る。	友だちと一緒に食べる楽しさを知る。色々な素材に慣れ、食事のマナーや食具の使い方を覚える。	友だちと一緒に食べる楽しさを知る。食べ方や食事のマナーを身につける。	食べ物と体の関係に関心を持つ。食べ方や食事のマナーを身につけ、自ら行う。

保育の内容	
健康管理	健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握。入園前1回、0・1歳児月1回、他クラスは年3回の嘱託医による内科健診と、年1回、2歳児・幼児クラスの歯科検診を実施。登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応。年間保健指導計画の作成と実施。年1回職員の健康診断及び、ほぼ毎月の検便、毎日の『健康観察経過表』等の記録を徹底し、職員も自身の健康に気を配る。
環境・衛生管理	温度・湿度・換気・採光・音などの環境を適切に保持。施設内外の設備・用具等の清掃及び消毒。
安全対策・事故防止	施設内外の設備・用具等の安全管理及び自主点検。毎月の防災訓練、年数回の不審者対応実技訓練、消防署員・警察署員を派遣し、園児への指導・職員園内研修の実施。『年間安全計画』の作成と実施。
保護者への支援	子育てに関する情報提供の場や交流の機会を設ける。また相談・支援を行うことで子どもと保護者を支援する。保護者同士のネットワーク構築を助ける。(保育専門知識や技術を活かして、保護者の育児サポートをする。保護者の不安や悩みを和らげ、育児を楽しく行えるよう働き掛ける)
地域等への支援	地域の方が乳幼児と触れ合える経験や乳幼児対象の親子に向けて『地域子育て支援事業』の取り組みを呼び掛ける。
地域等の交流	福祉園利用者交流。近隣商店や他園との関わり。近隣行事の参加。他園との交流。
研修計画	園外研修への計画的な参加。ほぼ毎月、全職員対象の園内研修の計画と実施。
小学校との連携	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」への理解を深め、一人ひとりの育ちを支援する。園児と児童の交流を通じて、小学校生活に期待感を持てるような学びの接続を図る。学校探検。要録の提出。
自己評価	